

オンプレミス資産を無駄にしない!
フレキシブルなパブリッククラウド

Microsoft Azure



何ができるのか、何をしたいのか。 求めた以上に、応えてくれる。

Microsoft Azure は、パブリッククラウドサービスの中でも、他にはないオンプレミスとクラウドのハイブリット環境が必見。オンプレミスで開発した自社アプリケーションなど、使い慣れた既存の資産を活かしつつクラウド環境と併存させたり、移行するにも手軽です。Azure はコンピューティング、データベース、モバイル、ストレージ、分析など、あらゆるサービスを展開し、オープンソースも数多くのサポート。ともすると「難しい」といった印象をもたれがちですが「まず業務ありき」で利用すればOK。システム管理のコスト削減につながり、「ITが専門ではない」一般の企業が抱える課題をスマートに解決します。



企業が抱える課題を
スマートに解決!



Support

エンジニア to エンジニアでの会話で製品選定から、基本設定まで円滑にご提案。Microsoft エンジニアとも連携してサポートいたします。

実際の商談事例を
ご紹介します。



- 商談事例 Case 1 > <オンプレサーバのIaaS移行>

 - ADサーバ、SQLサーバ、業務サーバクラウド化
- 商談事例 Case 2 > <PaaS活用による省コスト構成>

 - App Service / Azure SQL Database
- 商談事例 Case 3 > <ファイルサーバのクラウド化>

 - ファイルサーバクラウド化
- 商談事例 Case 4 > <デスクトップ仮想化によるセキュリティ強化>

 - Azure Virtual Desktopを用いたクラウドDaaS利用

商談事例 1

Case 1 社内のオンプレサーバをまとめてクラウドに移行 (IaaS活用)

組織概要

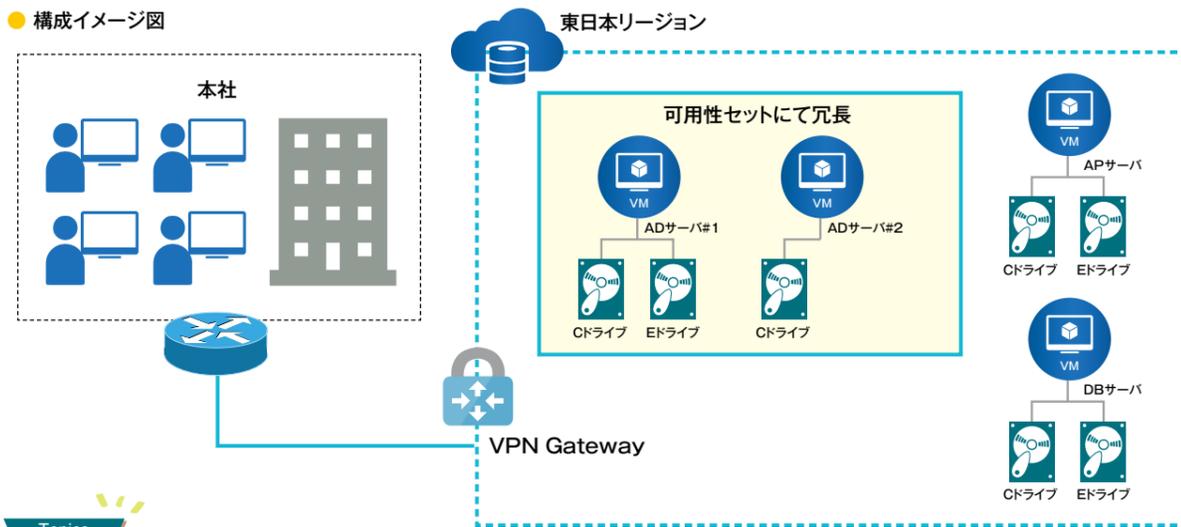
不動産会社
従業員30名程度

商談概要

社内システムクラウド化
Active Directoryサーバ、基幹サーバをクラウド化したい ✓

既存サーバ情報	課題	改善できる点
AD#1: 兼ストレージ Win2008R2 AD#2: 兼アンチウイルス管理サーバ Win2008R2 業務系AP・DBサーバ: PCA会計 Win2008R2	ハードウェア保守切れ Windows 2008 R2ソフトウェア保守切れ	ハードウェア保守からの解放 ハードウェア、OSのライフサイクルの改善

構成イメージ図



Topics

サーバ延命を支援するAzure特典

Windows Server/SQL Serverのセキュリティ更新プログラム (ESU) がAzureに移行した場合は、サポート終了から3年間無料で提供されます。

● 概算利用料(参考) ※月間フル稼働を想定した費用のため、実際の従量課金利用料とは異なります。

【仮想マシン費用】

種別	CPU	メモリ	OS	1時間あたりの単価	稼働時間(想定)	料金(月額)	備考
ADサーバ#1	4vCPU	8GB	Windows-(OSのみ)	40.8	744	30,413	
ADサーバ#2	2vCPU	8GB	Windows-(OSのみ)	19.9	744	14,831	
APサーバ	4vCPU	16GB	Windows-(OSのみ)	50.4	744	37,496	
DBサーバ	4vCPU	16GB	Windows-SQL Server	95.2	744	70,827	SQL Server Standard込み

【ディスク費用】

種別	HDD/SSD	数量	割り当て対象仮想マシン	タイプ	容量(想定)	料金(月額)	備考
ディスク	HDD	1	ADサーバ#1	S20	512	2,443	
ディスク	HDD	1	APサーバ	S40	2,048	9,181	
ディスク	SSD	1	DBサーバ	E30	1,024	8,624	

【VPN費用】

種別	レベル	帯域幅	1時間あたりの単価	稼働時間	料金(月額)	備考
VPN Gateway	VpnGw1	650Mbps	21.6	744	15,773	

※744時間=24時間×31日 ※リージョンは東日本を想定 ※ディスクサイズは想定容量で算出 ※通信料は未算出

商談事例 2

Case 2 PaaSを活用してWebシステム開発環境を低コスト/スピーディーに構築 (App Service / Azure SQL Database)

組織概要

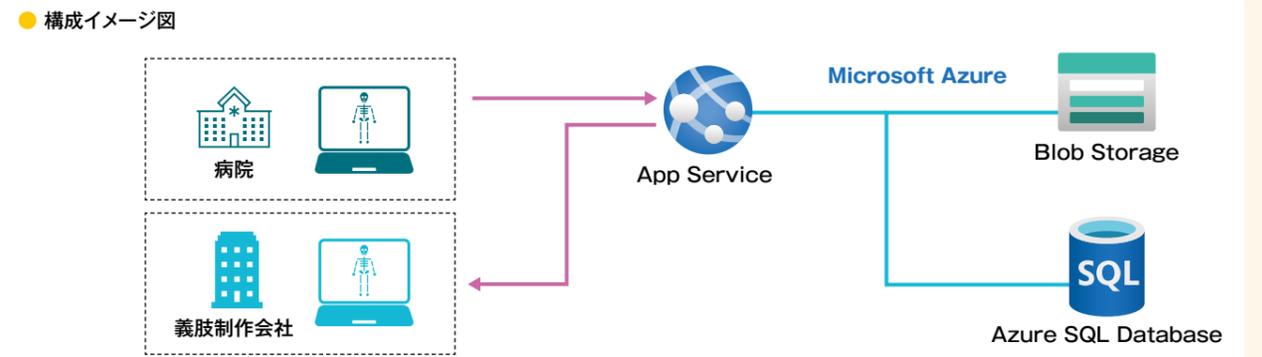
義肢・装具制作会社

商談概要

レントゲン・CT画像を病院と連携し、
装具の作成に必要なデータを共有するWebシステム ✓

既存サーバ情報	課題	改善できる点
オンプレミスファイルサーバ	情報管理上の課題	Webシステム化により 情報管理の課題を改善

構成イメージ図



Topics

Azure SQL Databaseについて

仮想マシン上で動作するSQL Serverとの違い

- OS / SQL Serverのアップグレード / メンテナンス作業が不要
・常に最新のSQL serverを使用可能 ・バックアップは自動で取得
- 柔軟なリソース調整
・初期構築後も柔軟にCPU/メモリ/ストレージ性能を変更可能
- 「高度なセキュリティ機能」、「自動チューニング」等独自の機能も
- VPN回線を利用しない構成も可能

利用にあたり考慮すべき点

- 稼働環境のメンテナンス等により、瞬間的な接続切断が発生することがあります。
- オンプレミスのSQL Serverで使用できた「Windows認証」は使用できません。
- SSAS、SSIS、SSRS は含まれておりません。

● 概算利用料(参考)

【App Service費用】

種別	CPU	メモリ	OS	単価	稼働時間(想定)	料金(月額)	備考
Standard S1	1Core	1.75GB	Windows	11.8/時間	730	8,667	西日本
Standard F1	60CPU/日	1GB	Windows	0	730	0	東日本
標準SSL証明書				7,838.8/年		653(月額換算)	1年間有効

【SQL Database費用】

種別	vCore/DTU	性能	ストレージ	単価	容量(想定)	料金(月額)	備考
Single Database	DTUモデル	10 DTU	250GB	2.5/時間	730	1,863	西日本
Single Database	DTUモデル	10 DTU	250GB	2.5/時間	730	1,863	東日本

【ストレージ費用】

種別	レベル	LRS/GRS	操作	タイプ	数量(想定)	料金(月額)	備考
ブロックBLOB	ホット	LRS		容量	250GB	560	
ブロックBLOB	ホット	LRS	トランザクション	書き込み操作	10,000	6	
ブロックBLOB	ホット	LRS	トランザクション	List,CreateContainer操作	10,000	6	
ブロックBLOB	ホット	LRS	トランザクション	読み取り操作	10,000	1	
ブロックBLOB	ホット	LRS	トランザクション	削除以外その他操作	10,000	1	

商談事例 Case 3

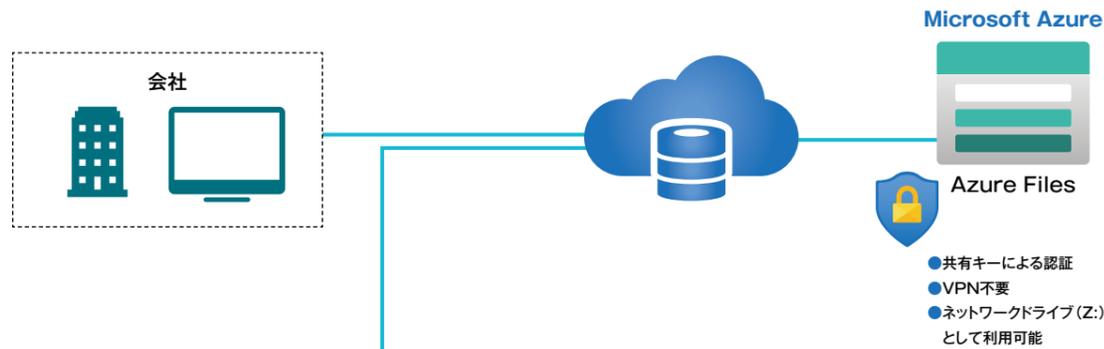
ファイルサーバクラウド化により外部からのアクセスを可能に

組織概要 一般測量・土木設計会社

商談概要 Azure Files を使ったクラウドファイル共有 ✓

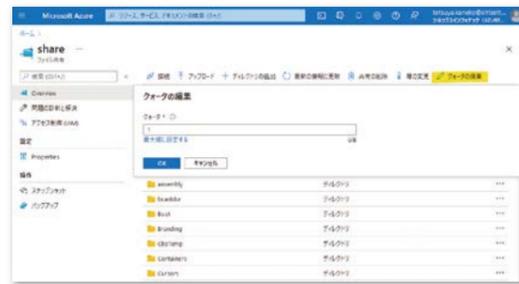
既存サーバ情報	課題	改善できる点
1台のパソコンをファイルサーバ代わりに利用し、ファイルの共有を行っている 主なファイルはExcel、JPG、PDF 外付けHDDにバックアップをしている	外出先からのアクセス方法がない OneDriveなどのクラウドストレージを検討したもののファイル名の制約があってそのままコピーできない場合がある	通常のファイルサーバと同じファイル名の制約で運用可能 外出先からもアクセス可能

構成イメージ図



Topics Azure Files の容量制限方法

- Azure Filesの容量はクォータで制限できます。
- 設定は最小1GiBから設定可能です。



概算利用料(参考)

[AzureFiles費用]

種別	レベル	LRS/GRS	操作	タイプ	数量(想定)	料金(月額)	備考
Azure Files	ホット	LRS		容量	1,024GB	3,441	
Azure Files	ホット	LRS		保存メタデータ	10GB	32	
Azure Files	ホット	LRS	トランザクション	書き込み操作	10,000	8	
Azure Files	ホット	LRS	トランザクション	一覧表示操作	10,000	8	
Azure Files	ホット	LRS	トランザクション	読み取り操作	10,000	1	
Azure Files	ホット	LRS	トランザクション	その他の操作	10,000	1	
帯域幅					5GB	0	~5GB: 無料 5GB~10TB: 13.4円/GB

商談事例 Case 4

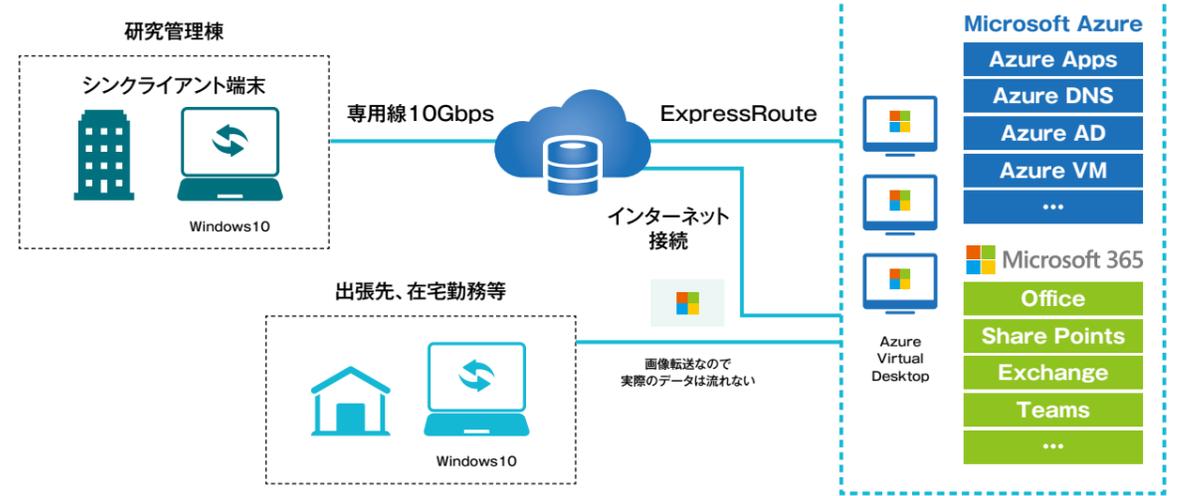
Azure Virtual Desktop による在宅勤務時のセキュアなデスクトップ環境

組織概要 研究機関

商談概要 研究資料管理システムをクラウド化したい ✓

課題	改善できる点
在宅勤務のためアクセスが不便	VDIによる出張先や自宅のPCからの研究資料管理システムへのアクセスで、情報漏洩リスクの低減

構成イメージ図



概算利用料(参考)

[仮想マシン費用]

種別	CPU	メモリ	OS	1時間あたりの単価	稼働時間(想定)	料金(月額)	備考
Azure Virtual Desktop	64vCPU	256GB	なし	198.7	730	145,102	
サーバ5台							
外部公開Web×2	2vCPU	16GB	RHEL-(OSのみ)	23.7	730	86,666	
内部Web							
内部NTP							
IT資産管理用サーバ	2vCPU	16GB	Windows-(OSのみ)	27.3	730	19,950	

[ディスク費用]

種別	HDD/SSD	数量	割り当て対象仮想マシン	タイプ	容量(想定)	料金(月額)	備考
ディスク	Premium SSD	2	Azure Virtual Desktop サーバ5台	P10	128	5,079	
ディスク	HDD	5	外部公開Web×2 内部DHCP 内部Web 内部NTP	S20	512	12,185	
ディスク	HDD	1	IT資産管理用サーバ	S20	512	2,437	



TD SYNEX株式会社

〒135-8559 東京都江東区東陽6-3-1 東京イースト21 ビジネスセンター2F

●本サービスに関するお問い合わせ

TD SYNEX株式会社 Microsoft CSP お問い合わせ窓口
microsoftcsp@synnex.co.jp

<https://www.nexpect.jp>

SYNEX
CLOUD Solv.

